

第25回 農業まつり

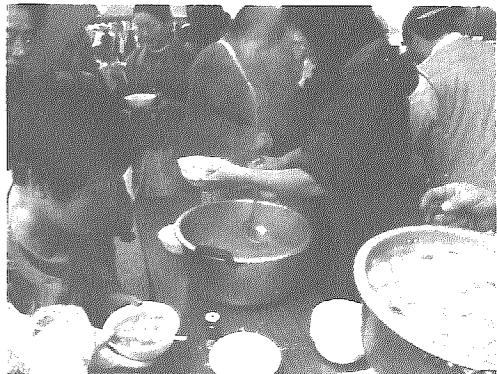
11月29日と30日の2日間、役場正面駐車場で、第25回横越町農業まつりが開催されました。

この農業まつりは、各種農業生産者たちが参加して、町内産の農畜産物をアピールするとともに格安で販売し、生産者と消費者が収穫をともに祝う毎年恒例のイベントです。



ゴボウや長いも、キャベツ、大根、白菜などの新鮮な野菜、甘くておいしい新興梨とル・レクチュ、きのこ、豚肉、牛乳・チーズなどの乳製品、漬け物や梨ジュースなどの農産物加工品、阿賀野川で採れたカニなどがたくさん並び、袋いっぱい買い求める人の姿が多く見られました。

また、特別コーナーとして、2日間とも農産物が当たる抽選会が行われたほか、1日目には子豚の体重当てゲーム、甘酒サービス、2日目には焼肉等の試食、もちつき、大根・ゴボウ・ねぎ・豚



費者が収穫をともに祝う毎年恒例のイベントです。

横越町教育シンポジウム 子どもの健康と体力について考える

12月6日、横越中学校で、「横越町の子どもたちの健康、体力はこれでよいか」をテーマに、第5回横越町教育シンポジウムが、町連合PTAと町教育委員会の主催により開催されました。

今回は子どもたちの学力に焦点を当てましたが、今回は、町の青少年が未来へたくましく生きていくために、その原動力となる健康、体力の向上について考えようと、小中学校の教職員、保護者、地域の育成会役員など約60名が参加しました。

はじめに仲村教育委員長から「よりよく生きていくために健康は重要なことで、年々子どもも大人も体力が劣ってきています。食の問題、体力の問題について、有意義な話し合いをして肉など横越産の食材たっぷりの横越鍋のサービス、姉妹村の茨城県美浦村コーナーでは、特産のレンコン、マッシュルーム、うなぎやエビなどの水産加工品が販売されました。

雨にもかかわらず、新鮮・安全で、おいしい旬の農畜産物を求める人たちがたくさん訪れ、大盛況でした。

肉など横越産の食材たっぷりの横越鍋のサービス、姉妹村の茨城県美浦村コーナーでは、特産のレンコン、マッシュルーム、うなぎやエビなどの水産加工品が販売されました。

雨にもかかわらず、新鮮・安全で、おいしい旬の農畜産物を求める人たちがたくさん訪れ、大盛況でした。



リレートーク

小学校の武者教諭、中学校の立川教諭は、町内小中学生の体力の現状について、体力測定の結果などを交えながら説明。続いて、体力低下の背景にある事柄として、小学校の林養護教諭と中学校の渡邊養護教諭から、子どもたちの睡眠時間や運動時間など生活リズムの調査結果が報告されました。また、有田栄養士から、朝食をとらない場合の生活への影響や食事・おやつの内容など、食生活の現状が報告された後、町体育指導委員の伊藤千賀さんから、スポーツ教室での取り組み・経験から、子どもたちの体力向上のための課題

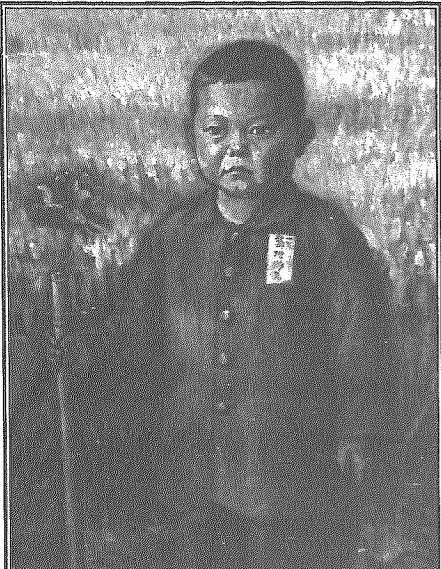
分散会

「子どもたちの体力を向上させるには、学校・家庭で何をなすべきか」について、3つのグループに分かれて議論。家庭での現状や今後の食事や生活習慣などで心がけるべきことについて意見を交わしました。

分散会報告・まとめ

横越町の子どもの体力は、全国平均よりはやや高いものの、20年前と比べれば低下しており、今後、学校、家庭、地域、行政が協力し合いながら、食事や生活習慣、授業、運動などについて少しずつ環境を整えて、子どもたちに働きかけていく必要があることが確認されました。

故 市村三男三氏 (横越村出身) の作品 1,900点余りを 町へ寄贈



寄贈された作品の一つ「国民服の少年」(昭和23年制作)

横越村出身で東京を中心に活躍した画家市村三男三氏の作品、油絵約400点、デッサン約1,500点が、このほど、東京にお住まいのご遺族(市村愛子さん)から町へ寄贈されました。

市村氏は、明治37年に横越村で生まれ、大正11年に新潟中学



市村三男三氏

校、同14年に横浜高等工業学校を卒業し、その後、東京都小石川区高坂町の川端画学校や造形美術研究所で絵画を勉強しました。

大正時代、戦前・戦時中は労働運動や労働者を題材とした作品を多く発表。代表作は、ロシア国内の有名美術館で保管されています。

昭和22年には日本美術会結成に参加、34年にグループ五輝会にも参加し、静物画や風景画など、数々の作品を発表しています。

平成2年に86歳で逝去されました。



並べられた作品の数々

水ぎょうぎ作りを通して 中国人留学生と国際交流

12月7日、二本木地区コミュニティセンターで、「中国人留学生との交流会」が開催され、黒龍江省と吉林省からの留学生・研修生10名と、町内の小学生から大人まで30名が参加。この交流会は、中国の方々と交流しようとして、よこし国際交流協会の主催により、毎年開催されています。

参加者は、ひき肉やねぎ、セロリ、えびなどの材料の分量や混ぜ方、小麦粉のこね方、皮ののびし方などを留学生たちから教わりながらぎょうぎ作りに挑戦。こねた小麦粉の固さを指で確かめたり、留学生が作った皮と比



11月資源ごみ収集実績

空きびん	6.7 t
空き缶	4.8 t
古紙	39.5 t
ペットボトル(拠点回収分)	1.1 t
プラスチック包装(11月業者引渡分)	6.9 t
合計	59.0 t

新潟県内の最低賃金

- ◆最低賃金 時間額 641円(据え置き)
 - ◆電気機械器具、情報通信機器器具、電子部品・デバイス製造業 時間額 740円(平成15年12月25日から)
 - ◆各種商品小売業 時間額 704円(据え置き)
 - ◆自動車(新車)、自動車部品・付属品小売業 時間額 737円(平成15年12月11日から)
- なお、各種最低賃金の表示について、日額表示はなくなり、すべて時間額のみ表示となりました。
- ◆問い合わせ 新潟労働基準監督署 ☎26613132



題、方法などについて説明がありました。